

疾病预防控制局

2020年01月度全国法定伝染病情報

国家卫生健康委 www.nhc.gov.cn 2020-02-29

来源: 疾病预防控制局

2020年01月(2020年01月01日00:00～01月31日24:00)内の、全国(台湾香港マカオは含まず、以下同)の法定伝染病例は1,414,630例(宮本注:前月は1,707,322例;292,692人減に転)、死亡者数は1,629例(前月は2,636例;1,007人減に転)であった。

うち、

A(甲)類伝染病では、発症ゼロであったが、ペストで1例が死亡している。(この1例については、リスト上で注釈がついており、それによると『患者は2019年10月31日に発症、2020年1月7日に死亡』しています)。

B(乙)類伝染病はSARS、ポリオ、ヒト感染高病原性鳥インフルエンザ、ジフテリアとH7N9型鳥インフルエンザで発症・死亡なし以外、残22種については、発症257,376例(前月は288,739例;31,363人減)、死亡1,514例(前月は2,618例;1,104人減に転)が報告されている。報告されている発病データの病種ワースト5は、ウイルス性肝炎、肺結核、梅毒、**新型コロナウイルス肺炎と淋病**(猩紅熱に代わりCOVID-19が4位にランクイン)で、B類伝染病報告総数の93%を占めていた。

2020年01月20日、国家卫生健康委は新型コロナウイルス肺炎を乙類伝染病に組み入れ、甲類伝染病としての管理をすると発表、01月31日24時までの時点で、全国では累計で確診患者数11,791人、死亡者数259人が報告されている。

同期、C(丙)類伝染病では、フィラリア症では発症・死亡ともにゼロだったが、その他10種の伝染病では、発症数は1,115,254例(前月は1,418,583例で261,329人減)、死亡は114例(前月は18例で96人増)であった。発症データの3位までの病種は、インフルエンザ、その他感染性下痢と足口病(12月と同類・同順)であり、C(丙)類伝染病報告総数の98%を占めていた。

冬～春の季節はインフルエンザなど気道感染症のピーク期であり、2019年12月より全国の各省がインフルエンザの流行期に入り、インフルエンザの活動レベルが絶えず上昇し、流行のピークに達している。丙類感染症発症と報告は、インフルエンザが主なものになる。現在、全国におけるインフルエンザの活動レベルは既に半年並みに落ち着いており、これから一定期間はインフルエンザの活動レベルはさらに落ちてくるものと予測している。

(宮本注:12月度のインフルエンザ患者数が『1,199,771人』、1月度のインフルエンザ患者数が『986,543人』となりましたがその説明分が赤線を引いた部分です。これをすべて嘘というつもりはないですが、これまでの単月のインフルエンザ患者数は、2019年1月の60万人がマックス。迅速診断ができるようになったことで倍の患者が見つかったということだけなのか、疑問が、、、というのも武漢肺炎(新型コロナウイルス感染肺炎)の患者がこの中には隠れているのではないかとみてしまう私がおかしいのか、、、苦笑)

(H7N9 鳥インフルエンザ患者と死亡者について:

1. 国家衛生計生委発表の2017年度月報上では、12か月間累計発症者数は、646人(死者数は269人)となりましたが、年度報告では発症589人、死亡259人と、それぞれに57人、10人の発症者・死亡者が消し去られていました。(こういう場合、WHOへの通報はどうするのでしょうか。恥ずかしいけどこんなに間違いがありましたと訂正を依頼できるのでしょうか。))
2. 不思議なことに、2017年10月以後は、散発的に患者が出ていたが、第6の波と呼べるものがまだ表れていません。2018年2月以後発症ゼロ、3月に一名死亡以後ゼロ行進。2019年は4月に内モンゴルと甘肅省境で患者1名がでていますが、それ以外はゼロ行進が続いている。**2020年01月も発症・死亡ともに『ゼロ』**
3. 4月5日に内モンゴル自治区(内モンゴル自治区アルシャー盟エジン旗達来呼布(ダライコボ)鎮)で82歳男性感染者が見つかった(13カ月ぶり!)ので、その数字が反映されています(誤診ではなかったようです!)。2018年2月以後の患者発生が報じられていないため、4月の死亡者も同じ人だと推量可能です。
4. 2018年に入ってから、この1月月報上の1名(新疆で発見、香港が発表)。そして、2月は1人発症1人死亡と発表。2月11日に中山市での患者発生が報じられている)しているのですが3月の死亡者1人というのがこの患者の死亡を表しているとするれば、1～5月までの累計で2名が発症、2名が死亡のままですが、5

月に、『[广东省本年初の患者が回復、まもなく退院](https://wp.me/p66EIr-2RJ)』という報道があったため、これが中山市の患者であることは明白、つまり、2名の本年死亡者中の「1名」は、確実に昨2017年の患者であることがわかりました。

5. 中国政府の活動の一つに、動物のサンプル調査で陽性反応が出た場合に、活禽市場を暫時閉鎖するというものがあり、これが『活禽への直接暴露機会』を減らしているのかもしれませんが。また、浙江省杭州市では、すでに市内での活禽交易市場は永久閉鎖されていますが、本当にこれだけで、第五波の数百人が第六波を起こすことなくほぼゼロになるのか、、、少し「楽観し過ぎ」かもしれません。
6. 現時点で未陥落の省は、青海省、寧夏回族自治区と黒竜江省の3省のみですが、黒竜江省では鳥間の集団発生が見られていますので、次の冬～春季に患者が出てくるという考え方を排除できません。
7. 浙江省、江蘇省、湖南、湖北省、北京市に続き、安徽省も患者のタイムリーな発表を意図的に隠し続けている様ですが、四川省アバ自治州若爾蓋などは刻々と変わる発生の状況をタイムリーに伝えており、これにより『デマ』に惑わされないようにとの工夫をしています。8月になって湖南省 CDC は単発患者1名を発表していますので、隠蔽体質の省から外せるかもしれません。もう少し様子見が必要。
8. 2017年1月からのFluTrackersとの情報交換共同作業をする中で、1625号患者(06月15日発表)まで追いかけることができました(7月に中側からFAOに発表された12人と、12月19日にFAOが発表した累計患者数“1621人”との差20人、それに2月28日のFAO“発表1625”人との差についてはいまだに詳細を確認することができずにいます)。WHOへの報告主体である衛計委とFAOへの報告主体農業部の間でも同国内なのに整合性もなく、また、2017年年報を発表した衛計委自体も患者数を突然57人減じている(死者数も10人減!)事実がありますが、衛計委がWHOに「この患者とこの患者は誤報でした」という通知もしていない??? FluTrackersによると、『必ずしもすべての数字がWHOに報告されていない恐れがある』とされています。実際、FluTrackersは、NHFPCや省・市のHFPCやHFPB、それに香港CHPの正式発表をもとに重複排除しており、中国政府当局の作為的な操作があるのかは別にして、乖離があります。中国当局からFAOへの通報、これに基づくFAOの発表についても上で述べたように『謎』の部分が出てきています。これらの患者がどうなったのかは、衛生計生委が毎年行っているB型肝炎患者数や梅毒患者数の操作と同じように『いなかったこと』にされるのかもしれませんが。患者が少なかったことから情報提供も僅か、それでも弊所からFluTrackersへの情報提供数は、**2017年1月以来446本**になりました(as of Mar. 01)。
9. 2014年1月に浙江省HFPCが発表した『**確診患者は日日発表、死亡患者は翌月の月報にて発表**。これが乙類伝染病としての管理だ』という内容の記事を弊研究所サイトにアップしています。『**2014-01-27 浙江省のH7N9鳥フル患者死亡者数発表に関して** <https://wp.me/p66EIr-2IP>』をご参照ください。
10. また、家禽の養殖場(採卵用の養鶏場)での集団発生が、増えています。2017年3月には湖南省永州市、5月には河北邢台市、河南平頂山市、天津市で発生。6月に入ってからには陝西省榆林市、内モンゴルフフホト市、内モンゴボグト(包頭)市、黒竜江省双鴨山市、8月には安徽省滁州市鳥間、と9件が発生しています。
11. 2018年に入り、3月5日には陝西省銅川市王益区で発生、4月5日には山西省臨汾市、18日には寧夏回族自治区同心県での発生、5月9日には寧夏回族自治区固原市でのアウトブレイクが農業農村部から発表されましたが、6月1日には、遼寧省瀋陽市で発生(H7N9に関するPPTに追記しています)。これで2017年は9件、2018年は5件、合計14件目の集団発生となります。一人もヒト感染者が見つかっていない寧夏回族自治区における鳥間の集団発生が2件続けて出ていることが気がかりです。
12. 2019年3月に、遼寧省錦州市で久しぶりの集団発生が報じられ、これで2017年から通算15件目の集団発生が出た形になりますが、どうも間隔があきすぎており、H7N9については、本当に消えているのか、消し去られているのか、、、良く判らなくなってきました。
13. 鳥間での病原性が低病原性から高病原性に変化しているようです(上海復旦大学の研究成果が『ランセット』感染症』に発表されたようですが)、今後の動向に注目必要ですね。
14. 但し、『**2018-04-03 対家禽H7N9インフル強制ワクチンの接種実施 河南省**』で書かれているように、H7N9ワクチンを活禽に強制接種されれば、(鳥肉を食用した人体への影響の有無は別にして)鳥類間でのアウトブレイク件数が減るのかもしれませんが。これもまた要ウォッチ事項だねとFluTrackersと話をしています。

(⇒See [20200229E 中国衛生部発表の全国法定伝染病発症死亡統計](#))

<http://www.nhc.gov.cn/jkj/s3578/202002/flidd61c00acf4e5caf2f755cc48b9063.shtml>

.....

National statutory reportable infectious disease epidemic situation in January 2020

China National Health Commission

www.nhc.gov.cn 2020-02-29

Source: National CDC

In January 2020 (0:00 on January 1, 2020 to 24:00 on January 31), the country (excluding Hong Kong, Macao Special Administrative Region and Taiwan, the same hereinafter) reported a total of 1,414,630 cases and 1,629 deaths.

Among them,

In Class A infectious diseases, there were no reports of onset, one (1) death of Plague was reported, the death case got sick in October, 2019, and died in Jan. 7, 2020.

On January 20, 2020, the National Health and Health Commission issued an announcement to include the new coronavirus pneumonia in Class B infectious diseases and manage them in accordance with Class A infectious diseases. As of 24:00 on January 31, a total of 11,791 confirmed cases and 259 deaths had been reported nationwide.

Though there was no report of incidence and morbidity in SARS (Severe Acute Respiratory Syndrome), poliomyelitis, human infection with highly pathogenic avian influenza, diphtheria, and H7N9 Avian influenza, the remaining 22 kinds of Class B infectious diseases reported a total of 257,376 cases and 1,514 deaths. The top five reported cases were viral hepatitis, tuberculosis, syphilis, Covid-19 and gonorrhea, and these five diseases account for 93% of the total number of reported cases of Class B infectious diseases.

In the same period, there was no incidence and morbidity report of filariasis in Class C infectious diseases, and 1,157,254 cases and 114 deaths were reported in the remaining 10 kinds of Class C infectious diseases. The top three reported cases were influenza, other infectious diarrhea and Hand-Foot-and-Mouth Disease, accounting for 98% of the total number of reported cases of Class C infectious diseases. Winter and spring are the seasons when respiratory infectious diseases such as influenza are high. Since December 2019, various provinces across the country have gradually entered the influenza winter season, and influenza activity levels have continued to rise and have reached the peak of the epidemic in succession, leading to the incidence of Class C infectious diseases and reports mainly of influenza. At present, the level of influenza activity in the country has fallen. It is expected that the level of influenza activity will fall further in the future.

..... 以下是中国語原文

2020年1月全国法定传染病疫情概况

国家卫生健康委

www.nhc.gov.cn 2020-02-29

来源: 疾病预防控制局

2020年1月(2020年1月1日0时至1月31日24时),全国(不含香港、澳门特别行政区和台湾地区,下同)共报告法定传染病1414630例,死亡1629人。其中,甲类传染病无发病报告,鼠疫报告1例死亡。乙类传染病中传染性非典型肺炎、脊髓灰质炎、人感染高致病性禽流感、白喉和人感染H7N9禽流感无发病、死亡报告,其余22种乙类传染病共报告发病257376例,死亡1514人。报告发病数居前5位的病种依次为病毒性肝炎、肺结核、梅毒、新型冠状病毒肺炎以及淋病,占乙类传染病报告病例总数的93%。

2020年1月20日,国家卫生健康委发布公告,将新型冠状病毒肺炎纳入乙类传染病并按照甲类传染病管理,截至1月31日24时,全国累计报告确诊病例11791例,死亡259人。

同期,丙类传染病中丝虫病无发病、死亡报告,其余10种丙类传染病共报告发病1157254例,死亡114人。报告发病数居前3位的病种依次为流行性感冒、其他感染性腹泻病和手足口病,占丙类传染病报告病例总数的98%。冬春季是流行性感冒等呼吸道传染病的高发季节,自2019年12月份以来全国各省份陆续进入流行性感冒冬季流行季,流行性感冒活动水平不断上升,并相继达到流行高峰期,导致丙类传染病发病和报告以流行性感冒为主。目前,全国流行性感冒活动水平已经回落,预计未来一段时间,流行性感冒活动水平将进一步回落。

附件: 2020年1月全国法定传染病发病、死亡统计表